

## おくすりQ&A

### お薬の名前に付いているアルファベットの意味は？ Part4

第122号(R)、第137号(D、L)、第196号(HD、LD)に続きアルファベットシリーズ第4弾、今回は「CR」についてパーキンソン病治療薬のレキップCR錠を例に解説したいと思います。

#### Q. レキップCR錠のCRはどういう意味ですか？

A. CRは英語の「Controlled Release (放出制御)」の略で、名前にCRがついている薬は、徐放性製剤と呼ばれています。徐放性製剤は、薬の有効成分が体内で徐々に放出されるように調節された薬です。薬の効き目が長時間持続し、また血液中の薬の濃度の上昇が穏やかなので、服用回数の減少や副作用を低減させるなど、患者さんの負担が軽減することが期待されています。

#### Q. レキップCR錠とレキップ錠にはどんな違いがありますか？

A. レキップ錠は1日3回服用に対し、レキップCR錠は1日1回服用で効果が24時間持続します。また、飲み始めは副作用を防止するために、少量から開始し、効果が発現するまで段階的に量を増やして有効な量が決められる点は同じですが、レキップCR錠はレキップ錠に比べより早く有効な量に到達することができます。

#### Q. レキップCR錠は半分に割って服用できますか？

A. 急に血液中の薬の濃度が高くなって、副作用が発現しやすくなる可能性があるため、噛んだり割ったり砕いたりせず、そのまま服用してください。

#### Q. レキップCR錠以外にCRがついている薬はありますか？

A. 高血圧・狭心症治療薬のアダラートCR錠、不整脈治療薬のノルペースCR錠、うつ病治療薬のパキシルCR錠などが販売されています。

現在CR錠は販売されている薬品数が少ないですが、今後種類が増え様々な疾患で使えることを期待したいですね。

執筆薬剤師 依田 直樹

# わたらの健康とくすり

第202号



#### 今月の内容

- ・双極性障害について
- ・乳幼児の誤飲にご注意を！！
- ・お薬の名前に付いているアルファベットの意味は？ Part4

#### ノイバラ (バラ科)

雑木林の縁、伐採後に放置された山の斜面など陽のあたる場所に生える棘だらけの低木で、高さは1.5mほどになります。6月頃に白い5弁の花が咲き、秋には赤橙色の実が成ります。この実は生薬名を宮実(えいじつ)といい、下剤にします。丈夫な植物なので、園芸のバラの接ぎ木の台木にされます。似た植物に河原に生えるテリハノイバラ、山の林下に生えるヤマテリハノイバラなどがあります。

写真・文 指田 豊

2012年11月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹

東京都八王子市館町1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

## 双極性障害について

近年、精神疾患が広く認知されるようになりました。皆さんは双極性障害という病気をご存知でしょうか。双極性障害は、最近まで「躁（そう）うつ病」と呼ばれていた病気です。躁症状とうつ症状を繰り返す病気で、性別にかかわらず100人のうち1～4人が、一生に一度は経験するといわれています。

### 病気の基本的な症状

双極性障害でみられるうつ症状は、うつ病の症状と変わりません。一日中続く憂うつ感や物事に興味をもてない状態が、何週間も続きます。躁症状は、気分が良すぎたり、ハイになったり、怒りっぽくなったり、いろいろな考えが次々と頭に浮かんだりします。自分では非常に好調だと感じるのですが、注意力は散漫で、睡眠時間も短くなり、じっとしてられません。思いついたことに見境なく手を出して失敗するなど、仕事の能率も上がりません。このような状態が1週間以上も続くので、人間関係や周囲との信頼関係が保てず、入院が必要になることもしばしばです。

### 見逃されやすい病気

双極性障害は、主に2つの理由から、精神疾患の中でも見逃されやすい病気といわれています。ひとつは病気だと意識するのがうつ状態の方が多く、この期間はずうつ病と見分けがつかないので、「うつ病」と診断されることが多いためです。もうひとつは、躁状態の患者さんは、病気であると気づかなかったり、周囲に受診を勧められてもわずらわしいと感じたりして、受診に結びつかないことが多いためです。

### 一般的な経過

双極性障害の経過は、一般的に躁状態に比べ、うつ状態のほうが長期間続くといわれており、一度症状が治まり普通の人と変わらない期間（寛解期といいます）が、年単位で訪れることもあります。しかし、治療を中断すると、たいてい再発してしまいます。また、再発を繰り返すと、再発までの期間が短縮し再発しやすくなるともいわれています。標準的な治療では、長期間継続して感情の波をコントロールし、再発を予防することが重要です。病気に気付かれた場合は、早めに医療機関に相談するようにしましょう。

執筆薬剤師 藪下 健太郎

## ちょっとお耳を……

## 乳幼児の誤飲にご注意を!!

皆さんは、ご家庭でお子さんが誤飲しそうになってヒヤリとしたことはありませんか？ 今回は乳幼児の誤飲について、平成22年に東京都が行った調査をもとにお話ししたいと思います。

### 想像以上に多い？ 誤飲の事例

平成22年に東京都が、0歳から6歳の子供がいる2,000人を対象に行ったインターネット調査では、誤飲した、誤飲しそうになったという報告が5,801件集まりました。年齢別にみると、1歳が最多で2,353件、次に0歳の1,825件となっており、自力で移動できるようになる1歳前後で特に注意が必要なのがわかります。

### ワースト1位は紙（ティッシュペーパー、新聞紙など）

誤飲した、誤飲しそうになった物で最も報告件数が多かったのは、紙（ティッシュペーパー、新聞紙など）で522件でした。次にシール502件、シャボン玉液414件、医薬品354件、たばこ351件と続きました。ティッシュペーパーやシールなど、乳幼児にとって身近にある物が原因になる場合が多いことがわかります。

シールは窒息の危険もあり、注意が必要です。また、たばこは葉そのものより、水に浸した状態のほうが悪影響が出やすいことが知られています。飲料の空き缶などを灰皿の代わりにしないように注意が必要です。

### 誤飲を防ぐために

誤飲を起こす危険がある物は、子供の手の届く範囲に置かないことが大切です。また、子供は視線が低いので大人が気づかない物を発見してしまうことがあります。子供の目線で部屋の片づけを行いましょう。

万が一誤飲が起こった場合、病院へ行くかどうか迷った際の相談窓口として、東京消防庁の救急相談センター【#7119（携帯電話、PHS、プッシュ回線の電話）、042-521-2323（#7119がつかない場合）】がありますので、ご活用ください。

執筆薬剤師 和久田 光宣